

# 東方教会史に関する文献

白 岩 一 彦

## 目 次

- はじめに
1. 東方教会史全般に関する文献
    - (1)概説
    - (2)史料集
    - (3)事典
  2. ギリシア正教会全般に関する文献
    - (1)概説
    - (2)通史
    - (3)伝記
    - (4)聖人の言行録等
    - (5)修道院
    - (6)イコン(聖画像)
  3. 日本正教会史に関する文献
    - (1)概説
    - (2)史料—日本正教会出版物—
    - (3)伝記
    - (4)各教会史
  4. 中国正教会史に関する文献
    - (1)概説
    - (2)北京のロシア正教徒集団(アルバジン人)に関する文献
  5. ロシア正教会史に関する文献
    - (1)概説
    - (2)通史
    - (3)各時代史
    - (4)伝記
  6. ビザンチン教会史に関する文献
    - (1)概説
    - (2)通史
    - (3)制度史
    - (4)思想・精神史
  7. アルメニア教会史に関する文献
    - (1)概説
    - (2)研究
  8. コプト教会史に関する文献
    - (1)概説
    - (2)史料
    - (3)現地調査報告等
  9. ヤコブ派シリア教会史に関する文献
    - (1)概説
    - (2)通史
  10. ヤコブ派マラバル教会史に関する文献
  11. ネストリオス教会史に関する文献
    - (1)概説、研究
    - (2)通史
    - (3)各時代史
    - (4)史料
    - (5)現地滞在報告

## はじめに

キリスト教は、ローマ帝国支配下のエジプトの地で始まり、宣教者イエスの十字架上の死と復活ののち、イエスの弟子たちによって、帝国のすみずみまで伝道がおこなわれた。

ローマ帝国政府は、このキリスト教を危険視し、度重なる禁令と迫害とにより撲滅を計ったが果せず、紀元313年に至って、時のローマ皇帝コンスタンティヌスは、キリスト教を公認することに決め、ミラノ勅令を発した。

ミラノ勅令は、キリスト教徒にとって、長い冬の時代の終りを告げるものであったが、その一方では、コンスタンティヌス帝によるキリスト教国教化が、新たな問題をひき起こした。コンスタンティヌス帝を始めとする歴代のローマ皇帝は、キリスト教の教義上の問題にまで介入して、国家公認のキリスト教を作り上げようと試み、このため、幾多の異端派や分離派のキリスト教会が発生した。

431年に開かれたエフェソス公会議において、キリストの母マリアを「神の母」と呼ぶことに反対したネストリオスが、異端を宣告されて流刑になり、彼の支持者たちは、ネストリオス派の教会を作って、主にアジア大陸に布教をおこない、景教と呼ばれるようになった。

451年のカルケドン公会議では、キリストの人性が神性に吸収されて一つになったとする合一論派（単性論派）が異端とされ、この説を信奉するエジプトのコプト教会と、シリア教会（ヤコブ派）は、以後独立の教会を保つようになった。のちにアルメニア教会もこの合一論派に加わり、やはり独立の教会を保つことになった。

こうした過程をへて、帝国公認のキリスト教の教義内容が固まってきて、今日のギリシア正教の母胎となった。

ローマ帝国は395年に東西二分化されて以来それぞれ独自の道を歩み、東半分は7世紀のアラブ・イスラム軍の侵入を機に、アナトリア（小アジア）を中心とするビザンチン帝国に模様替えをおこなった。このビザンチン帝国では、8世紀から9世紀にかけてイコン（聖画像）破壊運動がおり、長期にわたる燃烈な闘争ののち、イコン擁護派が勝利を取め、

今日のギリシア正教会に見られるようなイコンの位置づけが定まった。

9世紀後半ごろから、スラブ民族への布教などをめぐって、ビザンチン教会とローマ教会の間に対立が芽ばえ、1054年には双方が相手を破門するという、最悪の決裂状態になった。これ以後、ビザンチン教会を主とするギリシア正教会と、ローマ教会を中心とするローマ・カトリック教会が並立するようになり、同じく正統派信仰を標榜しながら、それぞれ異なった方向へ歩んで行った。

西のローマ・カトリック教会からは、16世紀にプロテスタント諸教会が分離し、今日に至っている。

このように、同じキリスト教の中でも、教義内容の違う幾つかの教会がある。

従来、日本で「キリスト教」というと、ローマ・カトリックかプロテスタントを連想し、ギリシア正教を中心とする東方教会には、まったく思い至らないのが実情である。しかし、東方教会の成立はローマ・カトリックやプロテスタントよりも古く、それだけに、原始キリスト教に近いと言える。また、東方教会の精神世界は、同じアジアの私たちになじみ易く、今後日本でももっと研究されるべき分野である。当館蔵書の紹介を中心とした本稿が、今後の東方教会史研究のために、いささかでも役に立てば幸いである。

#### 付 記

- i) 本稿で用いた「正教」及び「正教会」は、「ギリシア正教」及び「ギリシア正教会」を指す。
- ii) < > 内は当館請求記号。当館未所蔵分には所蔵機関名を記入した。
- iii) 各項目内の文献排列は、およそ初

歩・入門的なものから専門的なもの  
順とした。

## 1. 東方教会史全般に関する 文献

### (1) 概 説

初代教会史 H. R. ボーア著、塩野靖  
男訳 教文館 1977 324p.

〈HP 61-6〉

キリスト教史 第2巻 上智大学中世思  
想研究所編訳 講談社 1980 425, 91  
p.

〈HP 51-23〉

キリスト教史 3: 東方キリスト教 森  
安達也 山川出版社 1978 427, 44p.

〈HP 51-17〉

世界の歴史 7: イスラム文化の発展  
新訂版 筑摩書房編集部編 筑摩書房  
1978 311, 11p.

〈G A 32-29〉

Atiya, A. *A history of Eastern Chris-  
tianity*. London, 1968, 486p.

〈早大、一橋大〉

Attwater, Donald. *The Christian  
Churches of the East*. Milwaukee,  
1948, 2 v.

v. 1: Churches in communion with  
Rome.

v. 2: Churches not in communion  
with Rome. 〈280-A 886c〉

Ostrogorski, Georgije. *Geschichte des  
Byzantinischen Staates*. 3., durch-  
gearbeitete Aufl. München, 1963,  
514p. 〈949, 5-O 85g〉

### (2) 史料集

Migne, J. P., ed. *Patrologiae cursus  
completus*... [Patrologiae Graecae]  
Paris, 1857-1912, repr. Turnhout

19~ 161v. in 167. 『ギリシア教父全  
集』 〈HC 33-7〉

Migne, J. P. ed. *Patrologiae cursus  
completus*... [Patrologiae Latinae]  
Paris, 1844-1864, repr. Turnhout,  
1956~ 221v. in 222. 『ラテン教父全  
集』 〈HC 33-6〉

*Corpus scriptorum ecclesiasticorum  
Latinorum*. Vindobonae, 1866~  
『ラテン教会著作大成』

〈HP 63-4〉

### (3) 事 典

*The Oxford dictionary of the Christian  
Church*. Ed. F. L. Cross. 2d. ed. Ox-  
ford, 1974, 1518p. 〈HP 2-16〉

## 2. ギリシア正教会全般に関 する文献

### (1) 概 説

ギリシャ正教 高橋保行 講談社 1980  
318p. 〈HP 131-18〉

ギリシア正教入門 高井寿雄 教文館  
1977 202, 10p. 〈HP 131-9〉

ギリシャ正教入門 遠藤富男 1978  
167p. 〈HP 131-12〉

永遠のイコン: ギリシア正教 米田治  
泰、森安達也 京都 淡交社 1969  
262p. (世界の宗教) 〈H 31-3〉

東方正教会 オリヴィエ・クレマン著  
冷牟田修二、白石治朗共訳 白水社  
1977 171p. 〈HP 131-7〉

Ware, Timothy. *The Orthodox  
Church*. Harmondsworth, 1963, 352  
p. 〈東大〉

Blane, Andrew, ed. *The ecumenical  
world of Orthodox civilization*. The

Hague, 1974. 250p.  
<HP 131-22>

## (2) 通 史

基督正教会史 ポベドノスツェフ著、上田将訳 正教会編輯局 1893(明治26年) 765p. <17-315>

須氏教会史 I スミルノフ著 松本高太郎訳 正教会事務局 1902~1903(明治35~36年) 3 v. <316-75>

ハリストス教会史譚 中、下巻 アレクサンドラ・ニコラエヴナ・バフメテワ著、大和田敬時訳 正教会編輯局 1906~1908(明治39~41年) 2 v. <特18-913>

Zernov, Nicolas. *Eastern Christendom; a study of origin and development of the Eastern Orthodox Church.* London, 1961. 326p. <281.9-Z 58 e>

De Vries, Wilhelm. *Rom und die Patriarchate des Ostens.* Freiburg, 1963. 452p. <HP 122-33>

Benz, Ernst. *Die Ostkirche im Lichte der protestantischen Geschichtsschreibung der Reformation bis zur Gegenwart.* München, 1952. ix, 421p. <HP 131-17>

## (3) 伝 記

主ハリストス一代記(聖福音史) 斐沃芳編、石川喜三郎(ペートル)訳 正教会編輯局 1902(明治35年) 294p. <316-49>

至聖生神女マリヤの略伝 水島行楊編 正教会事務局 1899(明治32年) 68 p. <特45-118>

讚美たる聖使徒ペトルとパエルの略伝 水島行楊編 正教会事務局 1911(明治44年) 97p. (絵入正教家庭読本) <特45-126>

聖金口の生涯と其事業 ロプヒン著、加島斌訳 正教会編輯局 1912(明治45年) 230p. <特18-566>

\*コンスタンティノーブル主教を勤め、雄弁で知られたイオアンネス・クリュソストモス(金の口)(350頃~407)の伝記。

聖希里爾、瑪保提乙一代記 クニャーゼフ著、上田将訳 正教会 1884(明治17年) 132p. <33-218>

\*九世紀後半にスラブ民族の間でキリスト教の布教に努め、スラブ文化の基礎を作った、キュリロスとメトディオスの伝記。

諸聖略伝 第1~5巻 巴弗米帖瓦(バフメテワ)編 今田昂徳烈訳 正教会 1885~1886(明治18~19年) 5 v. 内容: 1~5月之部 <33-180>

Meyendorff, Jean. *Introduction à l'étude de Grégoire Palamas.* Paris, 1959. 431p. <922.2-P154m>

\*14世紀の神学者で、神秘主義的なヘシカスモス(静寂主義)を唱えたことで知られる、グレゴリオス・パラス(1296/7-1359)についての研究。

## (4) 聖人の言行録等

聖キリール教訓(イエルサリム大主教)・聖大ワシリイ教訓・聖金口イオアン教訓・シリヤの聖エフレム教訓・聖ティホン教訓 ア・ネウスキー編 堀江復訳 正教会編輯局 1901(明治34年) 1 v. <90-41>

聖キリール全書(イエルサリムの大主教)  
堀江復訳 正教会事務所 1903(明治  
36年) 512p. <316-96>

聖大ワシリイ教訓抄 シ・ゲ・ルンケウ  
イチ編 松本高太郎訳 正教会事務所  
1908(明治41年) 159p.  
<特18-924>

金口講話抄 イオアン著 吉田卯太郎編  
正教会事務所 1903(明治36年) 176  
p. <特18-217>

聖金口イオアン全集 第5巻 上・中編  
木村英吉訳 正教会編輯局 1905  
~1912(明治38~45年) 2 v. 内容:  
聖詠講話 <特18-771>

Goodall, Blake. *The homilies of St.  
John Chrysostom on the letters of St.  
Paul to Titus and Philemon;  
prolegomena to an edition.* Berkeley,  
1978. 102p. <HP131-67>

Orthodox Eastern Church. *Pravila sv.  
otsov*. [Sbornik. n. p., 18-?] 560p.  
Title from spine. Text in  
Greek and Church Slavic.  
『聖教父の定め』 <HP131-28>

#### (5) 修道院

世界の聖域 13: 聖山アトス 高橋栄  
一、辻成史 講談社 1981 151p.  
<HK31-8>

ビザンチンの光芒 - 聖域行 - 那谷敏  
郎 平凡社 1976 142p.  
<GG591-5>

Sioris, George A. *Mount Athos; the  
stronghold of Eastern Orthodoxy  
presented to a Japanese Buddhist  
audience.* Tokyo, 1969. 20p.  
<HP131-18>

Perilla, F. *Le mont Athos; texte, des-*

*sins et aquarelles de F. Perilla.*  
Salonique, 1927. xv, 188p.  
<709.49-P444m>

Sherrard, Philip. *Athos; the holy  
mountain.* Photographs by Takis Zer-  
voukakos. London, 1982. 176p.  
<当館未所蔵>

#### (6) イコン (聖画像)

イコン クルト・ブラッシュ 三彩社  
1966 86p. <198.15-cB82 i>

イコンのこころ 高橋保行 春秋社  
1981 174p. <KC387-5>

聖性の鏡 - イコン紀行 - 松永伍一  
平凡社 1981 165p.  
<KC387-6>

### 3. 日本正教会史に関する文献

#### (1) 概 説

日本正教史 牛丸康夫 日本ハリストス  
正教会教団府主教庁 1978 181p.  
<HP131-11>

日本正教会1970年-1980年 - 聖自治独  
立教会後の十年の歩み - 牛丸康夫  
日本ハリストス正教会教団府主教庁  
1980 58p. <当館未所蔵>

日本宗教史 II: 近世以後 笠原一男編  
山川出版社 1977 409, 40p.  
<HK33-48>

#### (2) 史料 - 日本正教会出版物 -

日本正教会伝道誌 卷之1~2 石川喜  
三郎編 正教会編輯局 1901(明治34  
年) 252, 302p. <90-42>

日本正教会公会議事録 石川喜三郎編  
1902(明治35年) 26, 178, 38p.  
<特18-37>

ハリストス教に対する疑惑の弁明 2版  
水島行楊 大日本正教会事務所  
1907(明治40年) 61p.

〈特47—848〉

\*初版は1899(明治32年)刊行

日露の戦争と日本正教徒 水島行楊編  
正教本会事務所 1904(明治37年) 60  
p.

〈97—159〉

東京ハリストス復活大聖堂の記念画帖  
増訂2版 水島行楊編 正教会編輯所  
1905(明治38年) 49p. 〈特55—24〉

\*初版は1904(明治37年)刊行

東京ハリストス復活大聖堂小誌—絵入—  
水島行楊編 1907(明治40年) 46p.

〈特49—207〉

日本ハリストス正教会合同信徒大会議事  
録 全国信徒大会事務所 1909(明治  
42年) 144, 55p. 〈325—83〉

ニコライ大主教宣教五十年記念集 1861  
—1911 瀬沼恪三郎編 正教神学校  
1911(明治44年) 154p.

〈325—140〉

大主教ニコライ師説教演説集 鈴木透、  
加美長勘平編 教要社 1911(明治44  
年) 303p. 〈325—139〉

大主教ニコライ師襄事録 大主教ニコラ  
イ師葬儀委員会編 ハリストス正教会  
本会 1912(明治45年) 172p.

〈198, 1—D27ウ〉

大主教ニコライ師事蹟 [他二篇]. 日  
本ハリストス正教会総務局編, 刊  
1936 257p. 〈721—18〉

正教と教会及国家 日本ハリストス正教  
会 1912(明治45年) 62p.

〈特45—123〉

\*『正教と国家』(明治25年刊)の改題。

ハリストス府主教渡来二十五年記念誌 日  
本ハリストス正教会総務局 1933 214

p. 〈645—168〉

\*ニコライ師の後継者セルギイ府主教  
(1871—1945)来日25年記念出版。

正教新報 461—765号 愛々社 1900  
—1912(明治33—45年) 〈雑4—10〉

正教要話 1号—19巻2号 教要社  
1900—1918(明治33年—大正7年)

〈雑4—12〉

正教時報 1巻1号—28巻12号、777  
—923, 924— 正教時報社 1912  
(明治45/大正元年)— 〈Z 9—138〉

### (3) 伝 記

明治文化とニコライ 牛丸康夫 教文館  
1969 158p. 〈HP131—1〉

われら生涯の決意—大主教ニコライと山  
下りん— 川又一英 新潮社 1981  
216p. 〈HP131—19〉

山下りん—黎明期の聖像画家— 鹿島卯  
女編 鹿島出版会 1976 271p.

〈KC229—62〉

山下りん 小田秀夫 日動出版部 1977  
216p. 〈KC229—88〉

山下りん—信仰と聖像画に捧げた生涯—  
小田秀夫 土浦 筑波書林 1980 92  
p. 〈KC229—157〉

酒井篤禮小伝—司察イオアン川股篤禮  
小伝— 小野帰一編 宮城県金成町  
1976 40p. 〈HP131—6〉

### (4) 各教会史

京都ハリストス正教会開教100周年記念  
誌 京都ハリストス正教会 1978 61  
p. 〈HP131—15〉

大阪正教会百年史譚 牛丸康夫 吹田  
大阪ハリストス正教会 1978 39p.

〈HP131—16〉

松山ハリストス復活聖堂 水島行楊編

正教会事務所 1911(明治44年) 42,  
2 p <特45—497>

<224—39>

#### 4. 中国正教会史に関する文献

##### (1) 概 説

Latourette, K. S. *A history of Christian missions in China*. New York, 1929. 930p. <275. 1—L 359 h>

Panskaya, Ludmilla. *Introduction to Palladii's Chinese Literature of the Muslims*. In collaboration with Donald Daniel Leslie. Canberra, 1977. 106p. <G K 477—32>

\*序文で、ロシア正教在北京伝道団の歴史について、手際良くまとめている(p. 3—15)。

##### (2) 北京のロシア正教徒集団(アルバジン人)に関する文献

阿爾巴青族 金在斗 洽爾浜 1938 8  
p. <752—199>

#### 5. ロシア正教会史に関する文献

##### (1) 概 説

Miliukov, Paul. *Outlines of Russian culture*. Ed. Michael Karpovich. Tr. V. Ughet and E. Davis. Philadelphia, 1948. 3 v. in 1. <281. 9—M644o>

\*本書第一部が『宗教と教会』となっている。

Dearmer, Percy. [and others] *The Russian Church: lectures on its history, constitution, doctrine and ceremonial*. London, 1915. 83p.

Zernov, Nicolas. *The Russians and their Church*. London, 1945. v, 193 p. <281. 9—Z 58 r>

Benz, Ernst. *Die Ostkirche und die russische Christenheit*. Tübingen, 1949. 175p. <281. 9—B 479 o>

##### (2) 通 史

Ammann, Albert Maria. *Abriss der ostslawischen Kirchengeschichte*. Wien, 1950. xvi, 748p.

<274. 7—A 518 a>

Makarîi, Metropolitan of Moscow, 1816—1882. *Istoriya russkoï tserkvi. Sanktpeterburg'*, 1891, repr. Düsseldorf, 1968—1969. 12v.

<H P 131—10>

\*最も浩瀚なロシア正教会史。

##### (3) 各 時 代 史

Fedotov, Georgii Petrovich. *The Russian religious mind: Kievan Christianity, the tenth to the thirteenth centuries*. New York, 1960. 431p.

<274. 7—F 294r2>

Smolitsch, Igor. *Geschichte der russischen Kirche, 1700—1917*. Erster Band. Leiden, 1964. LVII, 734p.

<281. 9—S 666 g>

\*1869年までを扱う。

Cracraft, James. *The church reform of Peter the Great*. London, 1971. 336p. <H P 131—14>

Oswalt, Julia. *Kirchliche Gemeinde und Bauernbefreiung soziales Reformdenken in der orthodoxen Gemeindegeistlichkeit Rußlands in*

*der Ära Alexanders II.*

Göttingen, 1975. 137p.

<HP131-46>

Curtiss, John Shelton. *Church and State in Russia; the last years of the Empire, 1900-1917.* New York, 1940. ix, 442p. <280.9-C981c>

Timasheff, Nicholas Sergejevitch. *Religion in Soviet Russia, 1917-1942.* London, 1943. xii, 171p.

<274.7-T582r>

Briem, Efraim. *Kommunismus und Religion in der Sowjetunion; ein Ideenkampf.* Übers. von Edzard Schaper. Basel, 1950? 434p.

<281.9-B853k>

絶東及び露国の基督教問題 レフ・テホ  
ミーロフ著、ペートル石川喜三郎訳  
正教会編輯局 1901(明治34年) 45  
p. <特49-211>

ロシア革命と正教—社会主義国におけ  
る土着信仰の諸相— 田口貞吉 ペリ  
かん社 1969 257p. <HK51-1>

政治と宗教—ソ連邦政治の宗教政策—  
霜田美樹雄 成文堂 1972 322, 8  
p. <HK51-3>

#### (4) 伝記

ロシアの神秘家たち S. ボルシャコー  
フ著、古谷功訳 あかし書房 1985  
502p. <当館未所蔵>

聖セラフィム師父(サロフの奇蹟者) 加  
藤斌編 教要社 1903(明治36年)  
104p. <特46-147>

サーロフの聖セラフィム イリナ・ゴ  
ライノフ著、エドワード・ブジョトフ  
スキ訳 あかし書房 1985 196p.

<HP131-25>

Scoladi, Paulin Gérard. *Krijanich, messenger de l'unité des chrétiens et père du panslavisme; au service de Rome et de Moscou au XVII<sup>e</sup> siècle.* Paris, 1947. 261p.

<928.918-K92s>

## 6. ビザンチン教会史に関する文献

### (1) 概説

Hussey, J. M., ed. *The Cambridge medieval history, vol. IV: The Byzantine Empire, part II: Government, church and civilisation.* Cambridge, 1967. xlii, 517p.

<940.1-C178>

### (2) 通史

Every, G. *The Byzantine Patriarchate* (451-1204). 2. ed. London, 1962. 204p. <慶大>

### (3) 制度史

Darrouzès, J. *Recherches sur les officia de l'Église byzantine.* Paris, 1970. 618 p. <HP131-13>

### (4) 思想・精神史

Gouillard, Jean. *Quatre procès de mystiques à Byzance vers 960-1143; inspiration et autorité.* Paris, 1978. 81p. <HP131-66>

## 7. アルメニア教会史に関する文献



(1) 概 説

Ormanian, M. *L'Église arménienne; son histoire, sa doctrine, son régime, sa discipline, sa liturgie, sa littérature, son présent.* 2. éd. Antélias-Liban, 1954. 194p. <281.62—O73e 2>

Lang, David Marshall. *Armenia; cradle of civilization.* London, 1970. 320p. <G E 685—27>

(2) 研 究

Lynch, H. F. B. *Armenia; travels and studies.* Beirut. 1965. 2 v. <G E 685—41>

8. コプト教会史に関する文献

(1) 概 説

el Masri, Iris Habib. *The story of the Copts.* [Cairo] Middle East Council of Churches, 1978. 584p. <H P 131—68>

(2) 史 料

埃及マカリイ全書(克肖なる神父) 堀江復訳 正教会編輯局 1906(明治39年) 620p. <319—160>

大聖マカリオスの言行録 稗田操子訳 中央出版社 1985 140p. <H P 61—15>

(3) 現地調査報告等

Yamagata, Takao. *Coptic monasteries at Wadi al Natrun in Egypt.* Tokyo, Institute for the Study of Language and Cultures of Asia and Africa, 1983. 58p. <H P 131—69>

コプト社会に暮らす 村山盛忠 岩波書店 1974 211p. <H P 131—4>

9. ヤコブ派シリア教会史に関する文献

(1) 概 説

Eastern Christianity, Independent Churches of, *The New Encyclopaedia Britannica*, 15th ed., *Macropedia* 6. Chicago 1980, p. 136—142. <UR 17—11>

(2) 通 史

Budge, E. A. Wallis. *The chronography of Gregory Abū'l Faraj... Bar Hebraeus... translated from the Syriac.* London, 1932. 2 v. <東洋文庫>

10. ヤコブ派マラバル教会史に関する文献

Brown, L. W. *The Indian Christians of St Thomas: an account of the ancient Syrian Church of Malabar.* Cambridge, 1956. xii, 315p. <281.63—B878 i>

Thomas, P. *Christians and Christianity in India and Pakistan.* London, 1954. 260p. <275. 4—T461 c>

インドにおけるシリア=キリスト教徒に関する文献 伊藤隆夫 アジア・アフリカ文献調査委員会 1964 19p. (アジア・アフリカ 文献調査報告 第88冊) <G E 771—1>

## 11. ネストリオス教会史に関する文献

### (1) 概説・研究

景教入門 神直道 教文館 1981 218 p.  
〈HP131-20〉

景教の研究 佐伯好郎 東方文化学院東京研究所 1935 1254p.

〈a198-CN2〉

### (2) 通史

景教東漸史—東洋の基督教— ジョン・スチュアート著、熱田俊貞、賀川豊彦 訳 豊文書院 1940 440p.

〈198.18-cS93t-1K〉

中国に於ける景教衰亡の歴史 佐伯好郎 ハーバード・燕京・同志社東方文化講座委員会 1955 63, 7, 7 p.

〈198.18-Sa153t〉

Moule, Arthur Christopher. *Christians in China before the year 1550*. London, 1930. xiv, 293p.

〈275.1-M861〉

### (3) 各時代史

支那基督教の研究 第1～2巻 佐伯好郎 春秋社松柏館 1943 2 v.

〈190.222-Sa153s〉

\*第1巻 唐宋時代の支那基督教

第2巻 元時代の支那基督教

唐元二代之景教 羅香林 九竜 1966 300, 13p.

〈HP131-3〉

### (4) 史料

シリヤの聖イサク全書 堀江復訳 正教会編輯局 1909(明治42年) 574p.

〈324-143〉

Saeki, Yoshiro. *The Nestorian documents and relics in China*. Tokyo, 1951. 525, 30p.

〈281.8-S127n〉

Budge, E. A. W. tr. *The monks of Kāblāi Khān*... London 1928. xvi, 335p.

〈281.8-M745〉

\*本書には次の邦訳がある。

元主忽必烈が欧州に派遣したる景教僧の旅行誌 ワリス・バッヂ著、佐伯好郎訳補 春秋社松柏館 1943 504p.

〈618-114イ〉

Fiey, J. M. *Mossoul chrétienne; essai sur l'histoire, l'archéologie et l'état actuel des monuments chrétiens de la ville de Mossoul*. Beyrouth, 1959. 164 p.

〈GE81-14〉

### (5) 現地滞在報告

Grant, Asahel. *The Nestorians; or, the lost tribes*. London, 1841. x, 338 p.

〈281.8-G761n〉

(しらいわ・かずひこ 図書館協力部国際協力課)

